

農村の暮らしを 体験く感想は？

福島県中地方振興局主催

「ふるさと発見ツアー」より

10月28日～29日にかけて、ふるさと発見ツアーが行われ、小野町での「農ある暮らし」を体験しました。
このツアーは、定住・二地域居住

の取組を進めている、福島県中地方振興局が主催したもので、首都圏に居住し農村の暮らしに関心の高い方が、農業体験や既に移り住んでいる方との懇談を行いました。

現地の案内や地元食材を活かした昼食の対応にあたっては、小野町ふるさと暮らし支援センター（渡辺直忠理事長）、の花会（石井友子代表）のみなさん、昼食会場となった民家の所有者の方など、強力な応援がありました。

現地見学会の会場では、小野町に移り住み「花き」の栽培・経営を行っている塚英夫さんに、移住までの経過や小野町での暮らしを伺い、積極的に質問をしていました。

中には、「ここで生活してみたい。」「貸してもらえない空き家はありませんか。」「といった声も聞かれました。



塚さん（写真左）の話を聞く姿は真剣そのもの

おのまち夢企画提案のコーナー

このコーナーでは、町政に関する新たな制度の創設や事業の実施など、みなさんの自由な発想からの提案を募集しています。（手紙、ファックス、電子メールなど）

提案については、具体的な事業への反映の可能性などを検討し回答します。内容については、提案趣旨の変わらない範囲で要約をする場合もあります。

8月・9月と提案のない月が続き、迎えた10月中旬。徐々に提案が届きました。しかも、初めての学生からの提案です。さらに、この提案の後、続けて4件の提案が寄せられました。

提案の内容などについては、新年号以降でお知らせします。

みなさんのアイデアが、まちの元気の源です。みなさんからの提案をお待ちしています。



- ◆担当課
小野町役場企画課
- ◆電話
0247-72-6939
- ◆ファックス
0247-72-3121
- ◆電子メール
kikakuka@town.ono.fukushima.jp

